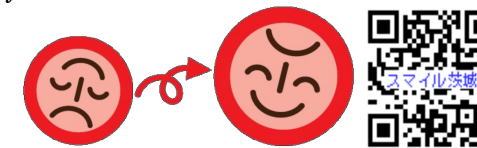


発行人【民進党茨城県参議院選挙区第3総支部版】
〒310-0852
茨城県水戸市笠原町600-41-2F
電話：029-297-8222 / FAX：029-297-8221
E-mail：info@y-fujita.com / http://www.y-fujita.com



民進党国際局長・元財務副大臣
参議院議員

ふじた幸久

国民が泣く政治から
笑顔を取り戻す政治



参議院選挙と郡司彰参議院副議長の誕生

7月10日に行われた参議院議員選挙では、茨城県選挙区の郡司彰候補が4回目の当選を果たすことができました。また、全国比例区においては1人区での11名の当選を含め、31名が当選させていただきました。まだ逆風の中で、皆さんから頂きましたご支援に心から感謝申し上げます。

お陰様で郡司さんは、参議院副議長に就任しました。茨城県初の国会副議長であり、良識の府で

ある参議院全体のかじ取りに力を発揮して頂きたいと思っております。

他方、3月に結党した民進党として初の国政選挙でしたが、まだ私たちが充分国民の皆さんの信頼に足る政権の受け皿になっていないことを深刻に受け止め、大きく変身しなければならないと強く感じております。



全国3番目に当確！おめでとうございます



臨時国会で参議院副議長就任挨拶

国民とのキャッチボールによる民進党代表選挙を

9月2日から15日まで民進党代表選挙が行われます。藤田幸久は、7月のアメリカ民主党大会(次項米国民民主党大会報告参照)の現場でみた、候補者が党员及び、国民とのきめ細かな「対話」を通じて国民の意見を取り入れる政治を実現する選挙にすべきだと代表選挙管理委員会に提案しました。

国民が最も切実な問題や怒り、要望などを訴え、候補者がそれに応じて政策を形成する共同作業で

す。これが国民に強い参加意識と責任意識が芽生えるという民主主義の原点です。

選挙管理委員会は私の提案も受け、全国10カ所で政策別の候補者討論会を行うことを決定してくれました。メディアも巻き込んだ国民とのキャッチボールによる新しい政治を目指して参ります。是非皆さんのご支援をお願いいたします。



ヒラリー・クリントン候補？と



オバマ大統領とヒラリー・クリントン候補



フィナーレ天井からの風船の嵐



▲ 昨年9月に鬼怒川が決壊し被災した常総市三坂地区を定期的に視察。2軒を除く8軒の家族はまだ被災生活です。



▲ 茨城県商工会議所議員大会に出席。各地域の中小企業の活性化支援が最重要課題です。



▲ 日本ベトナム友好協会総会。下山田虎之介名誉会長、齋藤平会長、中川喜久治会長代行他の応援を続けます。



▲ ひたちなか市の湧教会や明るい社会創りの会などが主催する、万霊供養灯籠流しと関東東北豪雨追悼法要に出席。



▲ 民進党茨城県連臨時大会が開催され、枝野幸男幹事長が党本部を代表して出席しました。



▲ つくばG7科学技術大臣会合レセプションで、サイバーダイナミクス社山海嘉之社長、筑波大学永田恭介学長らと懇談。



▲ 茨城県倫理法人会目標達成記念式典に出席しました。



▲ 茨城県中央メーデー。平和を守り、格差や貧困撲滅のために行動します。



▲ 茨城県酒造組合主催の「新酒をきく会」に出席。日本酒で乾杯です！



▲ 寺島文庫にてマイク・モチズキ ジョージワシントン大学教授、寺島実郎日本総研会長、斎藤勤元官房副長官と懇談。



▲ 日立アプライアンス多賀支部の「ファミリー大集合」で大島章宏議員、郡司彰議員、浅野さとし第5総支部長と。



▲ 世界宗教者平和会議(WCRP)国際軍縮・安全保障常設委員会演説。明石康元国連事務次長、庭野光祥師と。

藤田幸久 プロフィール

初の国際NGO出身の国会議員。
ハイチ地震援助など世界51カ国を訪問。

- ◆1950年 日立市生まれ
- ◆日立市二葉幼稚園・会瀬小・茨城大学付属中・水戸一高・慶應義塾大学文学部 卒業
- ◆難民を助ける会と国際MRA日本協会理事
- ◆1996年～ 衆議院議員当選(2期・東京選挙区)
- ◆2007年～ 参議院議員当選(2期・茨城選挙区)
- ◆政府役職：財務副大臣
- ◆参議院役職：拉致問題特別委員長、財政金融委員長(2回)、国家基本政策委員長
- ◆民主党役職：国際局長、ネクスト防衛副大臣、ネクスト沖縄北方副大臣
- ◆教職関係：聖学院大学非常勤講師、横浜国立大学非常勤講師
- ◆現在：民進党国際局長、ネクスト外務副大臣

☆ 看板・ポスター掲示のお願い ☆

ご自宅や所有地、会社などに看板やポスターを設置していただける方を探しております。掲示可能な方は事務所までご連絡をお願いします。

☆ 国会見学と国政報告会のご案内 ☆

国会見学は数名から、国政報告会はお自宅でのミニ集会も大歓迎！

☆ メールマガジン/Facebookで情報発信中！ ☆

ホームページからそれぞれ確認できます！→



アメリカ民主党大会に民進党のみが出席



ヒラリー・クリントン大統領候補の演説を聞くビル・クリントン元大統領と娘のチェルシー（その左）とケイン副大統領候補（その右）

米国政党大会への外国人出席は至難の業

党の国際局長として、藤田幸久は長年米国民民主党との関係強化を図ってきましたが、今回米国民民主党大会への招待を受け、牧山ひろえ国際局副局长（参議院議員）とともに出席しました。ヒラリー・クリントン候補、オバマ大統領、ビル・クリントン元大統領、最後まで候補者争いを行ったバーニー・サンダース上院議員などの生の訴えを聴くことができました。

米国では大統領選挙がある4年に1度しか党大会が開かれず、各級議員、代議員、支援団体、高額寄付者、

NPOなど登録された支援者しか入場できません。外国人が出席することは極めて至難の業です。今回、民進党代表団のみが4日間20時間入場でき、しかも最後の2日間はラウンジ席で出席できました。

直接民主主義の現場の迫力

毎日数十人が演説しますが、大統領候補や上下両院議員などに加え、介護ヘルパー、障害者、薬物使用者、イスラム教徒、イラク戦争で戦死した兵士の両親などが演説し、政策目標と、差別的言動で知られる共和党トランプ候補との違いをアピールしていました。出席者は、演説者毎に異なるプラカードを掲げて熱狂的な声援を送りました（下記「主な演説者リスト」参照）。



藤田もプラカードを持って応援

日本の政党大会と異なり、人事、予算、事業計画などの承認事項は無く、メディアを通して様々な立場の国民とのきめ細かなキャッチボール（対話）を繰り返します。アメリカの大統領選挙は、候補者が一年がかりで国民の意見を取り入れ、政策形成を行うプロセスです。こうして国民の参加意識と責任意識を醸成するのです。党大会は最も大きな「対話集会」であり、直接民主主義の現場の迫力を実感しました。



ラウンジからの応援と撮影

— 主な演説者リスト —

7月25日（月） 演説者 52名	7月27日（水） 演説者 81名
パム・リヴングウッド 薬物中毒問題	エリカ・スメギールスキ 銃による暴力防止対策
カーラ・オルティス 国外退去問題	フェリシア・サンダース 銃乱射事件の生存者
アナスタシア・ソモサ 知的・発達障害問題	ジェイミー・ドーフ イラク戦争軍人の未亡人
バーニー・サンダース 上院議員	ジョー・バイデン 副大統領
ミシェル・オバマ 大統領夫人	バラク・オバマ 大統領
	ティム・ケイン 副大統領候補・上院議員
7月26日（火） 演説者 46名	7月28日（木） 演説者 52名
サディアス・デズモンド 児童擁護問題のソーシャルワーカー	ヘンリエッタ・アイヴィー 介護ヘルパー・賃金問題
ダイナ・ハウバート 障害者権利保護支援弁護士	ベス・マチアス 長時間労働問題
アントン・ムーア 銃による暴力問題支援グループ	ジェンセン・ワルコット 男女間の賃金格差問題
マデレーン・オルブライト 元国務長官	ホアキン・カストロ 下院議員
ジェラーニ・フリーマン 青少年の非行・虐待問題	キア・カーン イラク戦争で戦死した兵士の両親
イーグル・アカデミー生徒 非行・虐待問題を持つ青少年	チェルシー・クリントン クリントン候補者 長女
Mother of the Movement 母親たちの運動	ヒラリー・クリントン 大統領候補・前国務長官
ジョー・スウィーニー アメリカ同時多発テロ事件担当刑事	
ローレン・マニング アメリカ同時多発テロ事件生存者	
ライアン・ムーア 医療制度改革	
ビル・クリントン 元大統領	

サンダース人気と日本の民進党の課題

一番人気はサンダース上院議員でした。緑のシャツを着た支持者も最大で、TPPが話題になると反TPPのプラカードを掲げるなどの強い支持が目立ちました。ヒラリー候補は最近「大統領就任後もTPPは反対する」と宣言しましたが、サンダースが訴えてきた格差や貧困対策、若者の望む政策などを実行していかなければ、共和党のトランプ候補に勝てないとの危機感の表れだと思います。

トランプ候補の人気不衰えないのは、白人中間層や貧困層の政治不信が根強いからです。工場閉鎖で廃墟と化した街の失業者、病院が高く医者にかかれない国民、大学は高額所得者か、奨学金をもらえる最貧層しか入学できない格差などの社会問題と政治の無能さに対する反発と怒りが既存の政治に向けられています。

日本の民進党としても、国民の悩みや怒りの受け皿となり、それに真正面から取り組む覚悟と能力、実行力を持つことが重要であると痛感しました。

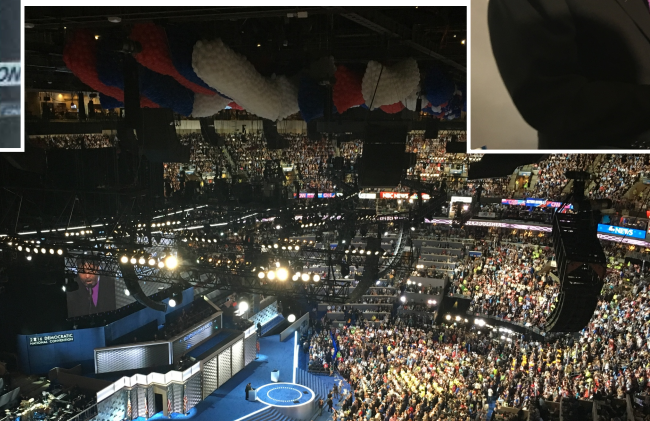


演説するバーニー・サンダース候補



イラク戦争で息子を亡くしたカーンご夫妻。「移民を排斥するトランプ候補は憲法を知らない」と批判し、大拍手を浴びた。ご夫妻はラウンジ席で私の隣に座りました。

2万人以上で溢れたウェルズ・ファーゴセンター 地域一帯は戒厳令の様な厳重警戒



モリッツ エネルギー省長官と



オルブライト元国務長官（中央）と
モゲリーニEU外交安全保障上級代表と

在外投票制度改善への取り組み

2月、5月に引き続き、ニューヨークで海外有権者ネットワークNYやニューヨーク日本人会会長などに在外投票制度の改善についての私たちの取り組みを報告しました。総務省や外務省への要望や質問主意書などによって、海外在住日本人が投票しやすくなる制度改善に引き続き取り組んで参ります。